

6月 小島小だより

令和 5. 6. 16

揖斐川町立小島小学校



「マスク社会の弊害をなくし財産を伸ばす」

校長 石井 幹也

先日、学校にお越しになった外部の方から「小島小学校の子供は、マスクをしていない子が多いですね。学校に安心感があるからでしょうね。」とお褒めの言葉をいただきました。子供の中には、高齢や病気の家族がいる、アレルギーがあるなどの理由からマスクが外せない子もあり、一律の指導ができない難しさがあります。しかし、今、マスク依存症、コミュニケーション障害等が社会問題となっています。

大人でも影響を受けているのですから、子供の心や脳の発達に対するダメージはかなり大きいと考えます。その1つとして、小学校の3～4年生の「ギャングエイジ(徒党の時代)」があります。ここでの同年代からなる集団の中で、みんなで約束を決め、みんなで守っていく経験は、社会性の土台となる大変重要なものです。マスク社会の中でこの機会が十分にとれなかったのではないかと心配になります。子供の一年は生涯に一度しかありません。マスク社会で失ったものを、できるだけ早く取り戻したい。この思いは皆同じだと思います。

そこで、学校では「感情のコミュニケーション」をできるだけ多くするよう心がけています。オンラインでの会議を経験した方はよくわかると思いますが、オンラインでは情報の共有はできますが、気持ちの共有は難しいです。面を突き合わせてのリアルな話し合いでは、互いに分かり合えると、一体感や高揚感が高まります。子供たちには、このような人と人が気持ちでつながる喜びを多く経験させたいです。この時、立場の違う人とのコミュニケーションがより効果的だと言われています。学校生活でいえば、分団登下校、あおぞら班の異年齢集団での活動、クラブ活動、委員会活動、春日小、揖斐特別支援学校等との交流、社会見学等での大人とのコミュニケーションが、とてもよい機会になります。

マスク社会の弊害ばかり述べましたが、子供を大きく成長させた部分もあります。それは、自分の命は自分で守るという意識や、周りの人の健康に気を配る態度です。こういった姿は、これからもほめて伸ばす必要があると考えます。

今の子どもたちが大人になった時、「君たちはコロナ世代だね。さすがですね。」と褒められるようにしたいです。そのためには、地道な指導と見守りが必要です。また、学校だけでは実現できません。マスク社会の弊害をなくし財産を伸ばす指導を、学校を含めた地域の大人総がかりで、焦らずじっくり取り組めたら素敵ですね。



【御礼】

今年度より夏休みのプール当番を、保護者の有志の方にお問い合わせいただき、延べ29名の方が引き受けてくださいました。本当に有り難うございました。お返しは冷えたお茶一つですが、一番のおもてなしは子どもたちの笑顔だと考えます。「人間は笑顔を見るだけで幸福度があがる」と言われています。それが子供の笑顔ならなおさらだと思います。夏休みのプールが皆の幸せで一杯になりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【令和5年度における教科書展示会】

下の日時、場所で令和6年度に使用する教科書見本の展示が行われています。興味のある方はぜひご覧になってください。

○期間:6月14日～6月27日 ○時間:9:00～17:00

○場所:西濃教育事務所 西濃教科書センター(小・中・高・特支の教科書) ※土日閉館
:いびがわ図書館 (小・中の教科書) ※月曜日閉館

米作り体験活動が始まりました！（どろんこ遊び、田植え）

今年も地域の方のご協力で、学校近くの休耕田だった場所を準備していただきました。5月30日に、田んぼに親しむ「どろんこ遊び」を行い、田んぼの中で、ドッジボールをしたり走り回ったりして楽しみました。6月9日には、田植えをしました。「おいしいお米を作りたい。」と張り切って活動しました。



今年もやります！FBC！！



今年も FBC に向けて、花作りを始めます。園芸委員を中心に種をまき、1～3年でポットに土入れをし、4～6年でポットへの苗植えをしました。この活動で自然に親しみ、命を慈しむ心を育てたいと思います。また、今年も花壇ボランティアとして多くの保護者や地域の方にお世話になります。



5年生ふじはし研修

～さわやかな風に吹かれて～



仲間と共に！

12年生 春の遠足

～手を取り合って歩ききりました～



こもれび
木漏れ日の中での楽しい昼食

